

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピタゴラボ城東		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	総合型の支援事業所であるが、利用者一人ひとりの特性や性格にあわせた支援が実践できている。「本人支援」の観点は強みであり、その結果、保護者様の満足度も高くなっている。	毎週末の会議で、利用者の様子を報告・共有を綿密に行い、利用者それぞれの特性に配慮した支援が実践できるような体制を作っている。	各職員がより一人ひとりの支援計画案に記載されている目標等を把握して支援が実践できるように、その日利用する児童の目標を掲示するなどの工夫を行う。
2	一人ひとりの意思を尊重して個人活動の場も守りつつ、集団活動への参加も意識してその機会を提供することができている。	一人ひとりの一日のスケジュール立案を行いつつ、集団で活動が行えるような療育内容を展開して参加を促す意識を職員間で持つことができている。	一人ひとりの意思を尊重する意識は大切にしつつ、バラバラに活動する時間が長くなることで職員の配置が不適切にならないように、施設としての一日のスケジュールを作ってメリハリのある行動ができるようにしていく。
3	放課後等デイサービスの利用契約者数が多いため、利用者それぞれが近い目線でコミュニケーションを活発に取ることができている。社会性を育むという観点で強みがある。	土日祝日のイベントを欠かさずおこない、利用者同士での交流が生まれるようにグループやペアを工夫したり、配慮した声掛けをしたりしている。	児童発達支援の利用者が同じ空間にいることを活用し、年下の子を思いやりたりできる場を設定する。土日祝のイベントだけではなく、平日の活動時にもレクリエーションなどを用意して学齡の垣根をこえてコミュニケーションが活発になるような施設づくりを行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日によって、送迎業務の兼ね合いで施設内職員の人数が満足いただけの数に達していないことがある。	平日に学校等への送迎スケジュールがタイトになってしまう課題がある。また、送迎業務可能な人員の育成が必要である。	送迎スケジュールや送迎ルートの見直しを行うとともに、送迎業務可能な人員の育成を積極的に行っていく。
2	学習支援をする際に、適切な環境設定ができていない場面が見られる。その結果、学習支援にかかる時間が長くなっており、利用者が負担を感じていることがある。	学習スペースと活動スペースが一体化していることで、視覚的・聴覚的な面の調整が十分に行なえていない。	職員の配置を見直し、学習スペースと活動スペースを分けるなどの環境調整を推進していくことで、利用者がストレスなく学習や活動に取り組めるようにしていく。
3	「家族支援」「移行支援」「地域連携」などの面に課題がある。また、実施していても取り組み内容や目的を保護者様にうまく伝えることができていない点が課題である。	関係機関と連携をおこなう頻度が人員の関係もあり少なくなっている。また、外出支援やお買い物支援など地域との関わりを持つ支援も定期的に実施しているが、それが地域参加などの機会につながっていることやイベント実施の目的をSNSやHPなどの媒体を含め、保護者様に効果的に伝えるための仕組みが構築されていない。	毎月発行する、その月のイベント内容詳細の記載の仕方を工夫する。イベントそのものの説明だけでなく、支援の観点を盛り込むことで、事業所の活動内容がより分かりやすく伝わる工夫を行う。また、SNSやHPなどの認知度を高めるために、QRコードを載せたり、新規契約の際にはアカウントの登録をお願いするなどして広報等にも力を入れる。また、関係機関との連携も学校訪問などの支援を取り入れていく。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名		ピタゴラボ城東				公表日	2025 年 3 月 31 日		利用児童数	31	回収数	14
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見					
							ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	0	1	1	宿題をするスペースと遊ぶスペースが分かれているととってもいい。	お子さまの安全面や過ごしやすさを十分に配慮した環境調整をおこなうとともに、職員の資質向上にも努めて参ります。貴重なご意見誠にありがとうございます。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	2		今後も職員の資質向上、連携を強化し、滞りなく安全に運営できるよう尽力して参ります。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	1						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	0	0		お子さまが心地よく過ごしていただけるように、引き続き施設の清掃や環境づくりをしてまいります。				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	2	0	0		定期的モニタリングを行い、課題の確認、目標の設定をしております。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1	0	1						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	2	0	0		日々お子様の活動の様子を観察し、職員間で情報共有をおこないながらアセスメントもとらせて頂いております。それらを踏まえて支援計画書の作成にあたっております。				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1	0	1						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1	0	0		会議でお子様の課題、目標を確認し、職員全員で支援にあたっています。				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1	0	1		会議で各職員から意見を集め、様々な活動を実施しながら日々運営を行っております。				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	4	4		週末のイベント等を活用して地域交流をおこなうことも検討して参ります。				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0		ご契約時にご説明させていただいております。				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0		モニタリング等の際にご説明させていただきまます。				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	2	3		定期的親子参加型イベントを実施しております。その際に保護者様への支援や情報提供の機会を確保し、適切に助言などをおこなえるようにしてまいります。				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1	0	0		送迎時や、メッセージ・お電話、モニタリング時にお話などさせていただいておりますが、より保護者様と共通認識をもって支援を行えるように尽力してまいります。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	1	0		保護者様に対して、より具体的な助言等ができるように職員の資質向上に努めて参ります。				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	1						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	4	3	3	4	もうすこし回数を増やしてほしい。	現在は2~3ヶ月に1度の頻度で親子参加型イベントを実施しておりますが、保護者様のニーズにもお応えできるように実施頻度も検討してまいります。貴重なご意見誠にありがとうございます。				
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2	0	1		保護者様の相談を受けた際は、より具体的な支援方法やアドバイスをさせていただけるように、職員の資質向上を図って参ります。					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	0	0	4	Instagramやリタリコ発達ナビなどで活動の様子を発信しております。保護者様に認知していただけるように、積極的に告知等させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	2	個人情報の取扱いには細心の注意を払っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	3	0	4	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	6	年二回の防災訓練を行っております。どのお子さまにとっても参加しやすい内容で実施できるよう努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	3	お子さまの安全を確保できるように職員への指導をおこない、支援してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	2	そのようなことがないように努めてまいります。もしも事故等があった場合は、速やかに医療機関や保護者様に状況報告や説明をさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	1	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	0	1	0	お子さまが楽しみにしてご来所頂けるような施設づくりを心がけてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1	1	0	どのスタッフさんも非常にいい方で、安心してお言葉、誠にありがとうございます。今後も保護者様とお子様にご満足いただけるような支援を提供してまいります。今後ともよろしくお願いたします。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	ピタゴラホ城東				公表日	2025年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	7		・平日のピーク時、送迎で人員が割られる際に職員の配置数が適切でないと感じる。 ・職員の数足りなくて見れていない場面が出てくる可能性もあるため7.8人であれば嬉しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	・ほざみなど危険な物は事務所に保管。 ・大通りが目の前にあり交通量も多いので、送迎車に乗るときは手を繋ぎ周囲の安全確保を徹底している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	・朝業務で掃除を実施している。	・遊びと学習スペースが同じである。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	3	・お話をしないといけな時は個別の部屋に移動。 ・学習室空間を必要に応じて開放している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	・毎週末に週礼が行われており、その際に業務改善のための有意義な話し合いが行われている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・都度保護者様に意見を聞くことがある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・毎週末に会議を行っている。 ・定期的な職員面談が実施されている。 ・週礼や月末会議を実施している。2カ月に1度、スタッフ面談を実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・交換研修等を行っている。 ・対象別に研修を内外で実施している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・HPで掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・会議を通して意見集約をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	3	・支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		・細かく記録できていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	4	・全員で分担して意見を出している。 ・定期的な会議で実施されている。	・個人での発案が多いことが課題。 ・チーム単位での活動を徐々に実施できるようになっている最中。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・様々な活動プログラムを実施している。 ・休日イベントでクッキング、運動、制作等様々な活動を行っている。 ・色々な遊びを取り入れている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	3	・朝礼でその日の流れを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	5	・メモ等で共有している。 ・毎日ではないが、翌日の朝礼で共有したり、週末の会議で共有の時間を設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	3	・毎日、利用者の様子等を把握し、記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・出来ている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	1		・「地域交流の機会」がとれていないので、イベント等にとりいれたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	・学校訪問などで情報共有をしている。 ・出来ている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	・適宜、行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4	・必要に応じて会議への参加や送迎時の申し送りでの情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	4	・学校卒業の事案はないものの、他事業所への利用になった場合などには情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	7		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		・地域との関わりがもてていないことが課題。 ・地域と交流する機会がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	7	・出来ている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送迎時における保護者との共有を毎日実施している。 ・送迎時にこどもの様子について話す時間をつくらせている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	・親子イベントを開催している。 ・保護者と利用者が協働できる活動プログラムを定期的に実施している。 ・親子参加型イベントを定期的に実施している。	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・モニタリングで実施。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・モニタリングや親子イベントなどで機会を設けている。 ・保護者イベントを通じてアンケート等を取り、相談への回答を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・親子イベントが定期的であり、保護者同士で交流する機会にもなっている。 ・保護者イベントにて実施している。 ・3か月に1回イベントで実施。 	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情や相談があった際、直ちに職員全体に周知する体制が整備されている。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施ごとにブログの更新を行っている。 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・している。 	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ・親子参加型イベントの中に家族参加のイベントを設けることで地域からの活動も広げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と関わる機会はない。 ・地域との関わりがとれていないのが課題。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を施設で実施している。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬や発作時の対応について職員間で周知している。 ・確認して職員に共有している。 	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキングやおやつ提供時に食物アレルギーへの配慮を行っている。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は行っている。 	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットが追加された際に全体で共有を行うようにしている。 ・朝礼や週礼、報告書を通して共有・話し合いを行っている。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修自体行えている。 ・人権研修を施設内で実施している。 ・事業所内で虐待に関する人権研修を行った。 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0			